

星のたより

2020年
11月号
Vol. 314

☆今月の一言☆
 ①にしの空を見てみよう。見覚えのある三角形が見えてない？ そう、「夏の大三角」がまだ見えているんだよ。ということは、七夕の星がまだ見えているってことだよね。11月になってずいぶんと寒くなったのに、夏の星ってなんか変だよ。



11月～3月は冬時間で休館日と開館時間が変わります

11月から3月は、休館日と開館時間が以下の通り変わります。

開館時間			
ご利用の月	ご利用の曜日	開館時間	ご利用内容
11～3月	水・木・金・日・祝	10:00～17:15 (18:00～20:00)	この時間帯は館内の展示見学が随時できます。 ※()内の時間帯のご利用は、宿泊者および事前ご予約者のみとなります。
	土曜日	10:00～21:00	
※最終入館は閉館30分前です。			
休館日			
11～3月	毎週月・火曜日、祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)		

新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

ご協力をお願いします

さじアストロパークをご利用の際は、以下の項目にご理解の上ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。開館状況などの最新の情報は、さじアストロパーク公式ホームページ等でご確認ください。

- ◎風邪症状のある方の利用は控えてください。
- ◎入館時、受付で体温の測定をさせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用をお断りすることがありますのでご了承ください。
- ◎館内展示の見学は、お客様同士の間隔を十分に開けて、密集状態とならないよう配慮してください。
- ◎利用者の皆様は、必要に応じマスクの着用や備付の消毒液の手洗いにより、感染拡大防止に努めてください。



イベント★耳より情報

☆新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

- ☆ミュージアムへ行こう☆ さじアストロパークは「第18回関西文化の日」参加施設です。11月14日(土)、15日(日)は、さじアストロパークの入館が無料となります。館内見学、期間展示観賞にお越しください。
- ☆期間展示☆ 「ハッブル望遠鏡が見た宇宙」12月11日(金)まで



ハッブル宇宙望遠鏡 (NASA)

- ☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」12月13日(日)まで

☆天体観察会☆ ☆11月のテーマとおすすめ情報

ペガサス座の球状星団・M15	7(土)
満天の星とアンドロメダ銀河	14(土)
天王星・海王星	21(土)
去りゆく火星	28(土)
観察会で満天の星が楽しめる	5(木)～8(日)、11(水)～15(日)、18(水)～21(土)
観察会で月がよく見える	22(日)、26(木)～29(日)



- ☆11月 休館日 2(月)、4(水)、9(月)、10(火)、16(月)、17(火)、24(火)、25(水)、30(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

定員24名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」を投影しています。

テーマ番組・オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」9月16日から投影中

ハッブル宇宙望遠鏡が打ち上げられて、2020年で30年となりました。宇宙望遠鏡の名前の「ハッブル」はアメリカの天文学者の名前で、アンドロメダ銀河が私たちの銀河系の外の天体であることを観測によりつきとめました。また「膨張宇宙」の元となる「ハッブル・ルメートルの法則」を発表したことで有名です。プラネタリウム番組でハッブル宇宙望遠鏡の30年の歴史を振り返ります。番組内の音楽は障がいがありながらも音楽活動をされている、鳥取県出身のサウンドクリエイター「Yuta Itani（井谷優太）<https://www.yutaitani.com/>」さんが、完全オリジナルで制作されました。

定員24名、要予約で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を24名 ②事前予約 ③マスク着用④緊急連絡先の提出 でおこないますので、ご了承ください。個人の方（お一人からご予約できます）は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



11月の注目天体情報

☆テレビ観望システム

「3密」軽減と天体観察会の魅力アップのため、このたび新たに「テレビ観望システム」を導入しました。3密が予想される毎週土曜日の観察会は、103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。

☆見ごろの星座

見ごろの星座は「うお座」です。明るい星が少ないので普段は見つけにくいのですが、今年はちょうど火星がうお座の辺りで輝いています。この機会に、うお座の場所を確かめておきましょう。

☆アンドロメダ銀河

「アンドロメダ銀河」は、月明かりや街明かりのない条件では肉眼でも見られる銀河です。地球からの距離は230万光年で、私たちの銀河系の外側にある天体ですが、100年ほど前までは私たちの銀河系の内側にある天体だと考えられていました。11月中旬ごろは月明かりもなく好条件観察できます。望遠鏡での観察と合わせて、肉眼でもアンドロメダ銀河を観察してみましょう。

☆準大接近した火星がまだまだ見ごろ

2020年10月6日に地球に最接近した火星。最接近後もしばらく見頃が続きますので、103cm大型望遠鏡で観察してみましょう。

観察会のイメージ



アンドロメダ銀河



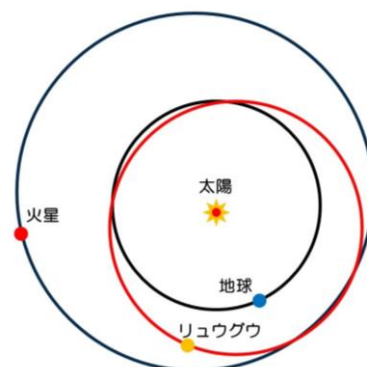
はやぶさ2

～ いよいよ地球に帰還 ～

今、はやぶさ2が地球に向かっていきます。帰還予定は12月です。はやぶさ2のこれまでの活躍をみてみましょう。

リュウグウへ

「はやぶさ2」は2014年12月3日、種子島宇宙センターからH-2A ロケット26号機で打ち上げられました。1年間は地球に似た軌道に沿って太陽のまわりを公転し、2015年12月3日に地球スイングバイを行い、地球から約3億km離れた「小惑星リュウグウ」に向けて飛び立ちました。リュウグウが調査対象となったのは、太陽系の起源と生命の原材料物質を解明するためです。目的地の小惑星リュウグウは大きさが約900mで、そろばんの珠(たま)の形に似ています。



リュウグウの軌道

リュウグウでの活動



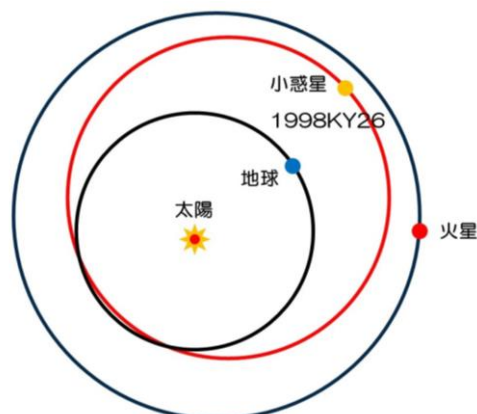
はやぶさ2は2018年6月27日にリュウグウに到着しました。主な調査内容は、2018年9月21日に探査用ローバー「ミネルバII-1」を分離しました。小惑星表面に降りた世界初のローバーで、小惑星表面で自律的に移動し、写真撮影を行いました。2018年10月下旬に最初のタッチダウンを行う予定でしたが、表面が想定以上にでこぼこだった為、延期されました。そして、2019年2月22日に1回目のタッチダウンを行い、表面物質の採取に成功しました。

1回目の着陸精度はわずか1mでした。2019年4月には、衝突装置(インパクト)を撃ち込みました。7月11日に2回目のタッチダウンを行い、地下物質の採取に成功しました。これにより、表面と地下物質の比較をすることが出来ます。2回目のタッチダウンは着陸精度がわずか60cmという、まさにピンポイントで行われました。日本の技術のすばらしさがわかった瞬間でもあります。10月3日には「ミネルバII-2」を分離しました。機体内部に不具合が発生したため、表面の観測活動は行わず、重力場を調べるミッションに切り替えました。これらの調査活動を行い、2019年11月13日に地球に向けて出発しました。

はやぶさ2のこれから

～ さらなる長い旅路へ ～

はやぶさ2は今年の12月6日に帰還する予定です。サンプルを格納したカプセルを、オーストラリアのウーメラ砂漠に向けて分離します。分離後は、軌道修正を行い地球から離脱します。太陽のまわりを約11周してから目的地に向かいます。次の目的地は「小惑星1998KY26」です。この小惑星は地球と火星の間を公転しています。小型小惑星の地球衝突による被害の軽減や、太陽系のより遠方への探査に必要な知見の獲得を目指します。到着は11年後の2031年7月の予定です。これから100億キロの長い旅が始まります。



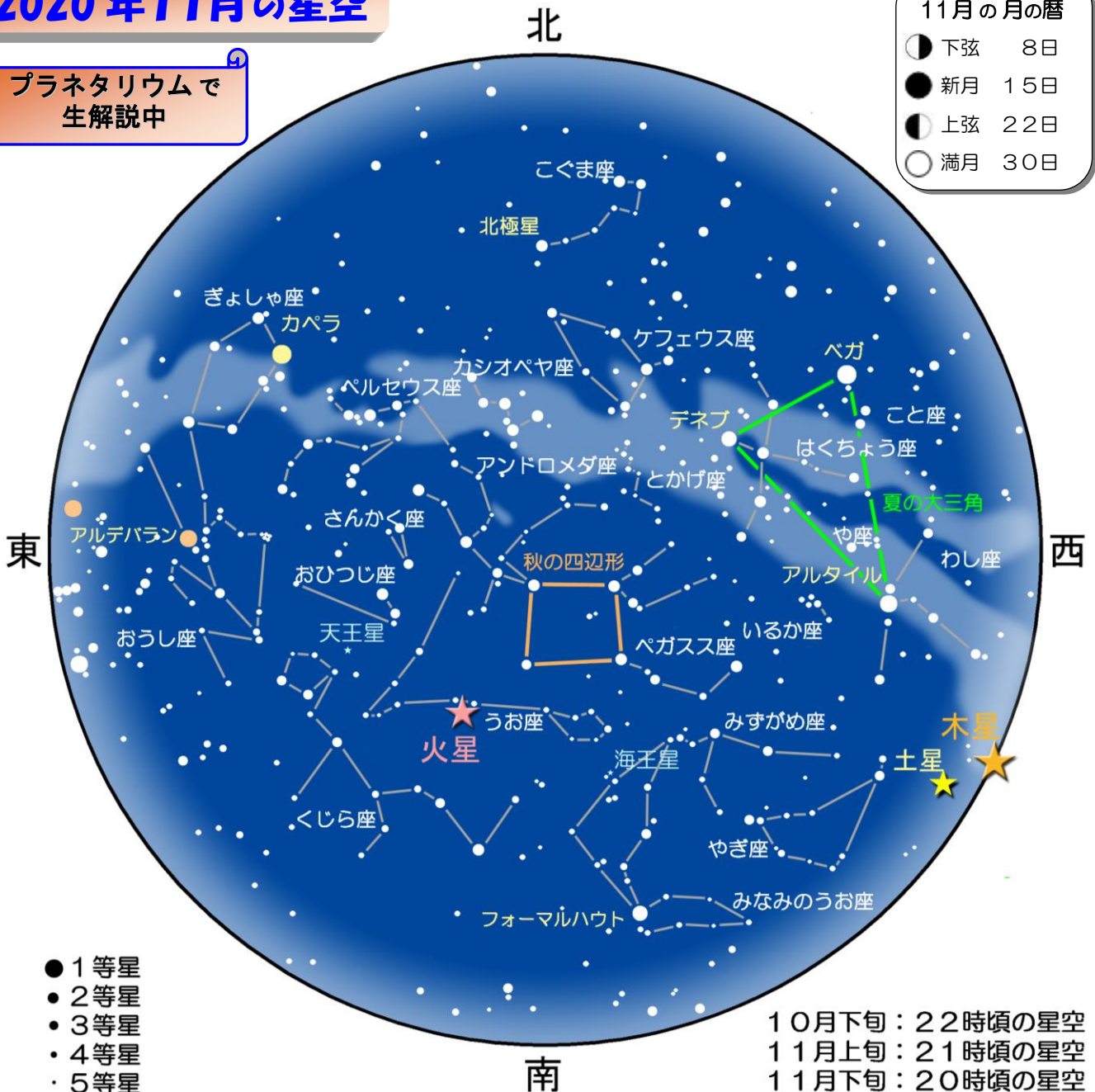
1998KY26の軌道

2020年11月の星空

11月の月の暦

- ☾ 下弦 8日
- 新月 15日
- ☽ 上弦 22日
- ☾ 満月 30日

プラネタリウムで
生解説中



10月下旬：22時頃の星空
 11月上旬：21時頃の星空
 11月下旬：20時頃の星空

☆11月になると山々の紅葉が進み、秋の深まりを感じます。星空は夏～秋～冬と3つの季節を楽しむチャンスです。暖かい服装で星空めぐりをしましょう。

☆西の空には「夏の三大角」が見えています。「まだ夏？」という感じですが、そろそろ見納めですので、忘れずに見つけておきましょう。月明かりがない頃には天の川も探してみましょ。

☆頭の真上あたりには「秋の四辺形」があります。近くに最接近を終えた「火星」がありますので、目印にしてたどってみましょ。秋の四辺形はペガサス座のちょうど胴体にあたります。南側が背中ですのでひっくり返って見えます。

☆東の空には「おうし座」などの冬の星が昇ってきました。少し待つと「オリオン座」も昇ってきます。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報については**ホームページ**&**Facebook**でチェック

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

<http://blog.zige.jp/saji-astro/>

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp